

土木学会 論文集 I

JAPAN SOCIETY of CIVIL ENGINEERS

1992-04 no.446 I-19

STRUCTURAL ENGINEERING/
EARTHQUAKE ENGINEERING

PROCEEDINGS of JSCE

土と水の連成逆解析プログラム

未来設計企業
CRC

UNICOUP

応力解析と浸透解析がドッキングした!

軟弱地盤の解析に!

海洋開発・埋立

盛土・掘削

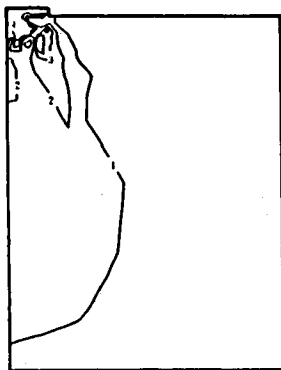
出力項目

- 各節点での変位、各要素での応力
- 各節点での全水頭・圧力水頭 他
- 豊富な図化処理
変位図、変位ベクトル図、応力ベクトル図、応力カウンター図、安全率カウンター図、水頭カウンター図、圧力水頭カウンター図

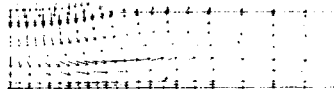
プログラムの特長

- 応力と地下水の流れをカップルさせた問題が解析可能です。(圧密含む)
- 地下水の流れは飽和・不飽和域を対象としています。
- 多段掘削・盛土や降雨等が扱えます。
- 梁や連結要素も扱え実用的です。
- 経時観測記録(変位・水位)があれば、非線形最小二乗法に基づき変形係数や透水係数が逆解析できます。(順解析、逆解析がスイッチにて選択可能です。)
- 弾性・非線形弾性・弾塑性・弾粘塑性を示す地盤が扱えます。
非線形弾性(電中研式、ダンカン・チャンの双曲線モデル)
弾塑性(ドラッカー・ブラガー、モール・クーロン、カムクレイモデル、ハードニング、ソフトニング)
弾粘塑性(関口・太田モデル)

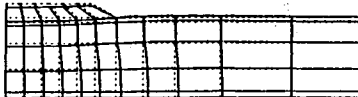
↓ (荷重)



応力増分カウンター(ΔσV)
(10日後)



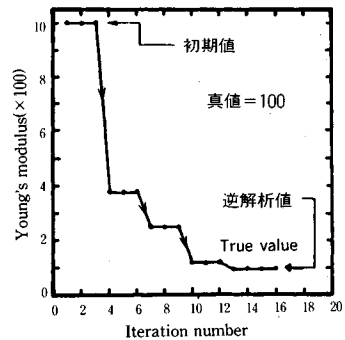
変位ベクトル図 (40日後)



盛土(40日)後の地盤の変形



盛土(40日)後の地下水の流れと水頭
カウンターおよび自由水面



ヤング率と繰り返し回数の関係
逆解析によるパラメータの推定

このシステムは、情報処理振興事業協会の委託を受けて開発したものです。

IPA 情報処理振興事業協会

株式会社 **CRC総合研究所** 西日本支社

問合せ先

大阪市中央区久太郎町4丁目1-3
(06-241-4121) 営業担当: 岩崎

土木学会論文集編集委員会

委員長……………石原研而
副委員長……………秋山成興
幹事長……………浅枝 隆*

第1小委員会

委員長……………秋山成興
委員……………大町達夫*
委員……………岸野佑次*
委員……………北田俊行*
委員……………佐藤政勝
委員……………高田至郎
委員……………長井正嗣
委員……………森地重暉
委員……………山本一之
幹事……………野村卓史*

編集調整会議幹事……………杉山俊幸

第2小委員会

委員長……………服部昌太郎
委員……………江藤剛治
委員……………大垣眞一郎
委員……………小葉竹重機*
委員……………澤井健二
委員……………鶴谷広一*
幹事……………田中昌宏*

編集調整会議幹事……………佐藤慎司*

第3小委員会

委員長……………宇野尚雄*
委員……………大西有三
委員……………緒方信英*
委員……………久楽勝行
委員……………寺師昌明
委員……………芳賀孝成*
委員……………播田一雄*

幹事……………山辺 正

編集調整会議幹事……………赤木寛一

第4小委員会

委員長……………森地 茂*
委員……………井上博司*
委員……………柏谷増男*
委員……………小柳武和
委員……………佐藤馨一*
委員……………松本昌二
幹事……………宮城俊彦

編集調整会議幹事……………肥田野 登*

第5小委員会

委員長……………角田與史雄*
委員……………笠原 篤
委員……………児島孝之*
委員……………阪田憲次
委員……………関 博
委員……………蒔田 實*
委員……………山本泰彦*
幹事……………出雲淳一
編集調整会議幹事……………梅原秀哲*

第6小委員会

委員長……………菊池禎二*
委員……………池田 弘
委員……………魚本健人*
委員……………遠藤孝夫
委員……………笠原正俊*
委員……………木村洋行
委員……………柳屋健治*
幹事……………吉川正昭*
編集調整会議幹事……………小野 定*

*平成3年度新任

討議について

この論文集に掲載された論文に対する討議はすべて土木学会論文集編集委員会あてとし、その締切期日は平成4年10月20日とする。

All communications and discussion (open until October 20, 1992) relating to the papers included in the Proceedings should be addressed to the Editorial Committee on Technical Publications, Yotsuya 1-chome, Shinjuku-ku, Tokyo, 160 Japan

複写をされる方に

本誌（書）に掲載された著作物を複写したい方は、著作権者から複写権の委託を受けている次の団体から許諾を受けて下さい。

学協会著作権協議会内日本複写権センター支部

〒107 東京都港区赤坂 9-6-42-704

Phone : 03-3475-4621・5618

Fax : 03-3403-1738

Notice about photocopying

In order to photocopy any work from this publication legally in USA, you or your organization needs to obtain permission from the following organization that has been delegated for the copyright clearance by the copyright owner of this publication.

Akasaka Branch Office

Japan Reprographic Right Center

c/o The Copyright Council of the Academic Societies

704-42-6 Akasaka 9-chome, Minatoku, Tokyo 107 Japan

Phone : 03-3475-5618

Fax : 03-3403-1738

Copyright Clearance Center, Inc.

27 Congress St., Salem, MA 01970 USA

Phone (508) 744-3350

Fax (508) 741-2318

*本文用紙は再生紙を使用しております。

土木学会論文集 No. 446 / I-19 定価 1 500 円 (本体価格 1 456 円)

平成 4 年 4 月 15 日 印刷

平成 4 年 4 月 20 日 発行

発行者——— 社団法人 土木学会 専務理事 八木純一

東京都新宿区四谷 1 丁目無番地

発行所——— 社団法人 土木学会

〒160 東京都新宿区四谷 1 丁目無番地 振替東京 6-16828 番

電話 03-3355-3441(代) Fax 03-3355-3446, 03-5379-0125

印刷所——— 技報堂

造本デザイン——海保 透
